

ニッポンハナダカバチが兵庫県佐用町大撫山で営巣

八木 剛・堀内湧也

2017年8月5日, 兵庫県佐用町西河内の兵庫県立西はりま天文台公園内「キャンプファイヤー場」で, ニッポンハナダカバチ *Bembix niponica* の営巣を確認した(図1). キャンプファイヤー場は, 大撫山山頂(標高435m)から南南西に約150m, 標高約420m地点にある. その一角に, 3m四方程度, おそらく凹地の解消のため新鮮な真砂土が投入されており, そこに, 数個体の本種の営巣が見られた. 同所的にクロアナバチも営巣していた.



図1 兵庫県佐用町大撫山(西はりま天文台公園)で営巣していたニッポンハナダカバチ.

本種は, 兵庫県内では, 淡路島と日本海側の自然海岸に生息していることが知られている(遠藤ほか, 2007)ほか, 神戸市須磨区離宮前町の児童公園(山口, 2002), 神戸市須磨区高倉台の街区公園の砂場(高島, 2015), 三田市西部の小学校内の砂場(中峰, 2015)といった, 人為的に創出された砂地での営巣も記録されている.

今回の発見地点は, 最寄りの海岸から直線距離で25km強の内陸部に位置するだけでなく, 山頂付近であるという点で, 他の事例とは立地条件を異にしている. 少なくとも学校や河川敷は周囲1km以内にはなく, 山林環境を越えて上昇しなければ当地へ到達できない. パッチ状に形成された一時的な砂地を利用すべく分散する性質も, 本種は備えているのだろう.

なお, 当日は, 「姫新線イベント列車 第1弾! 「むしむし号」で行くむしとりペナントレース&むしむしたいけん in 西はりま天文台公園」(主催: 姫新線利用促進・活性化同盟会)が行われており, キャンプファイヤー場は, 活動拠点として使用されていた(図2). 約80名の親子連れの参加者やスタッフは, 営巣地とその付近を頻りに往来していたが, 本種の存在はほとんど意識されていなかった. 地表付近を俊敏に飛翔する本種の性質により, 個体数が少なければ, 一般の人の目には留まらないものと察せられた.



図2 その一角で営巣が見られた西はりま天文台公園キャンプファイヤー場. イベント実施のためテントが張られている. 営巣地は写真左から2番目のテントの前あたり.

○参考文献

- 遠藤知二・西本 裕・橋本佳明・中西明徳, 2007. 兵庫県北部の砂浜海岸におけるニッポンハナダカバチの分布. 人と自然, No.18, 13-20.
 高島孝夫, 2015. 神戸市須磨区に発生していたニッポンハナダカバチ. きべりはむし, 37 (2), 65.
 中峰 空, 2015. 兵庫県三田市西部の小学校敷地内でニッポンハナダカバチが営巣. きべりはむし, 37 (2), 66.
 山口福男, 2002. 児童公園の砂場にハナダカバチが発生. きべりはむし, 30(2): 47.

(Tsuayoshi YAGI 兵庫県立人と自然の博物館)
 (Yuya HORIUCHI 宝塚市)

キバネツノトンボの棲息地続報

東 輝弥

本誌第37巻第1号で3ヶ所の棲息地を報告した(東, 2014)。この度もう1ヶ所棲息地を確認したので報告する。



図1 クモの巣にかかった個体.